

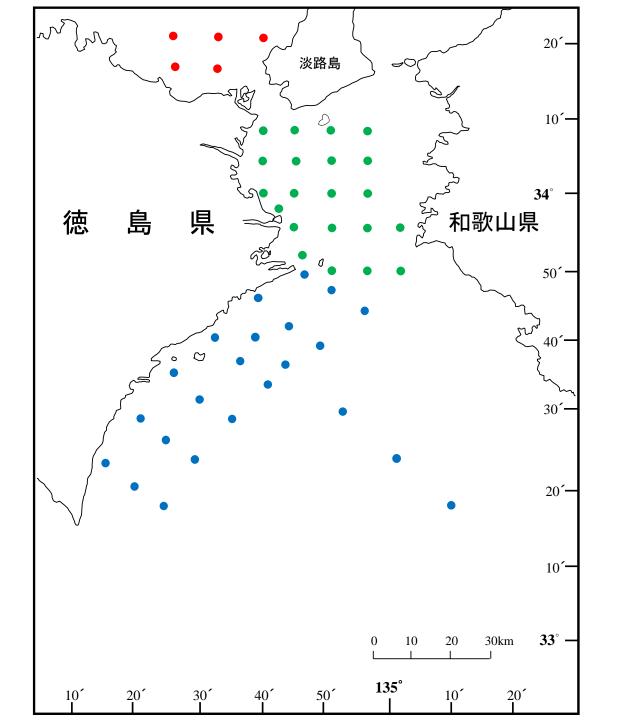


徳島県辻農林水産総合技術支援センター水産研究設

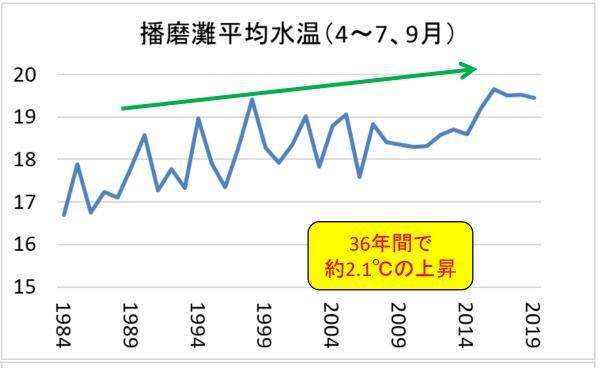
海洋観測 定点

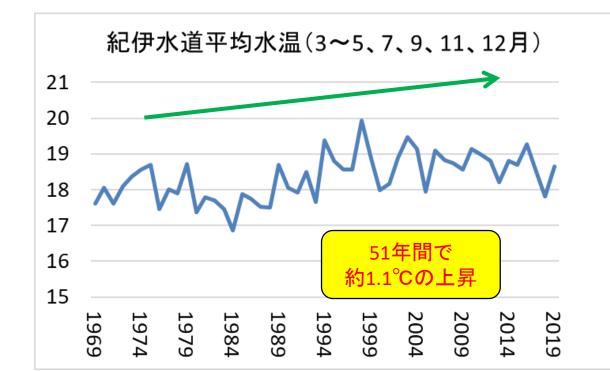
- •播磨灘海区(1984年~)
- •紀伊水道海区(1968年~)
- •海部沿岸海区(1968年~)

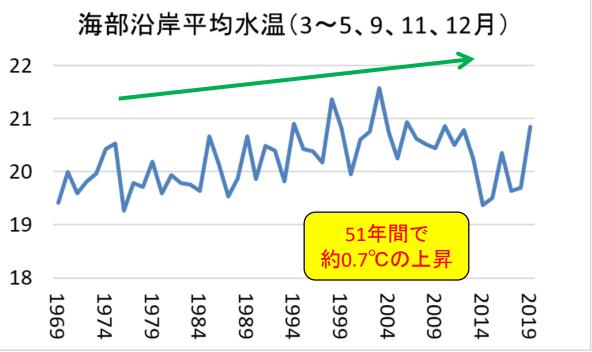




年間平均水温の変化







海部沿岸0m層(8月) 30 29 大 当 [°C] 26 25 1968 1978 1988 1998 2008

(※2004年は欠測)

海部郡沿岸海域の今年8月の平均水温 29・2度と、記録の残る1

取和17年1月7日第3種郵便物認可

化が生じている。

岸など3地点では30度た。特に海陽町宍喰沿

8月を0・4度上回っ

海水温が高くなった。 でなく、西日本周辺で

より日射量が多い上、

30 (度) 28.7 で、南方系魚の漁獲量が急

日射量の多さなど要因

浜海岸で5日間、古牟

高めの傾向が続いた。

れ観測された。

今夏は海部郡沖だけ

藻を食べるアイゴやブ

タイの動きが活発な状

取高だったことが県の観測 降水量が少なく、日射で い状態だったためとみら

い高さとなった。

急増。8月は前年同月 6月から、 万系魚の漁獲量急増に

前後上昇している。 県水産研究課の湯浅

にあり、年間平均水温近年、高水温化の傾向 はこの50年ほどで1度にあり、年間平均水温 海部郡沿岸海域では

沿岸では、温かい海水 にあったことも影響し にあったことも影響し ロマンザイウオの漁獲タボシイワシやヒレジ もあった。

海部郡内5漁協では

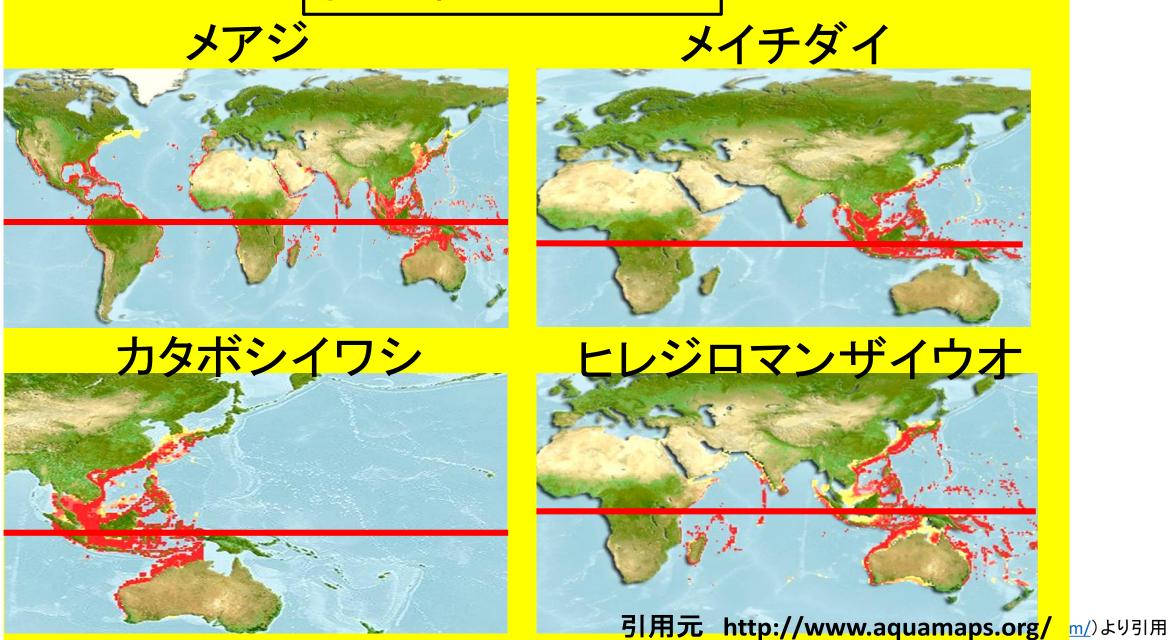
(徳島新聞 平成28年10月24日掲載記事)

の突出した高水温の両温の上昇傾向と、今季

万が影響している」と

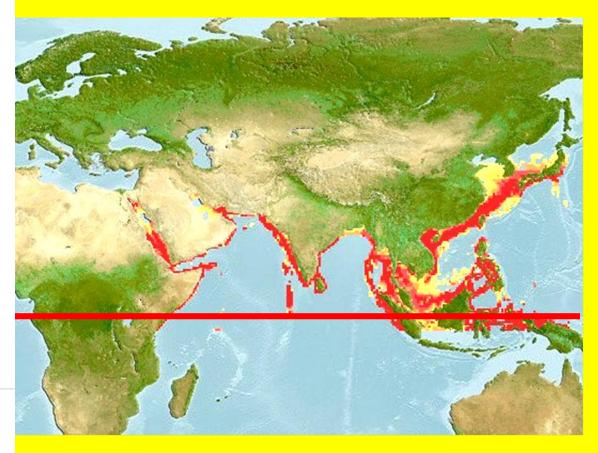
南

各魚種の生息域

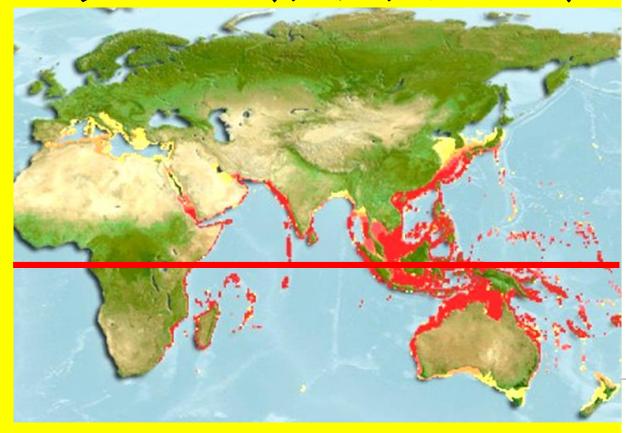


各魚種の生息域

八七



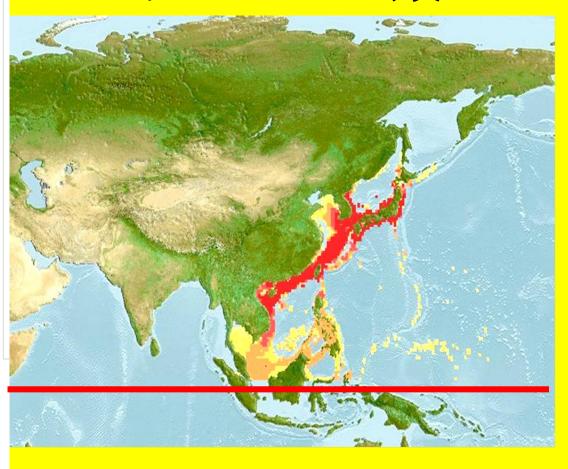
クマエビ(アシアカエビ)



引用元 http://www.aquamaps.org/

各魚種の生息域

ヒラメ・カレイ類



イカナゴ類



引用元 http://www.aquamaps.org/

高水温化の影響 ~藻場の衰退~

【サガラメ・カジメ場】(日和佐)

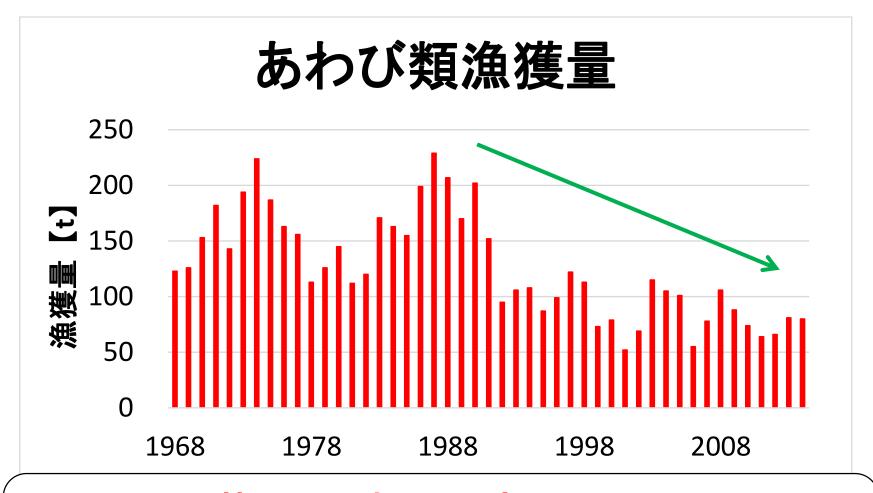
植食性魚類による食害!



2002年(H14)6月

2009年(H21)6月

あわび類漁獲量の減少



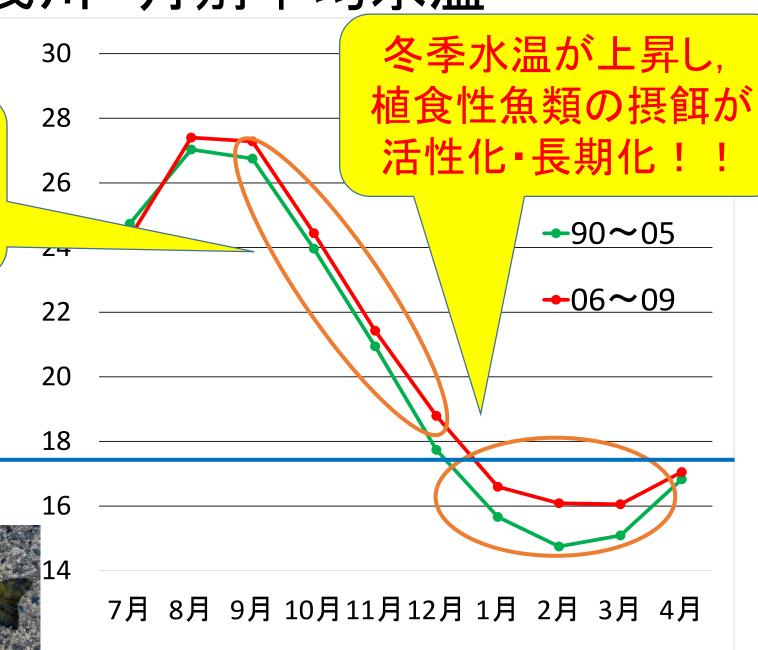
藻場の衰退、高水温化

→ あわび類の成長・成熟に悪影響

海陽町浅川 月別平均水温

秋の水温低下が遅く,あわび類の成熟が遅れる!!

植食性魚類(アイゴ)の 摂餌活性が低下する 水温 17.5°C



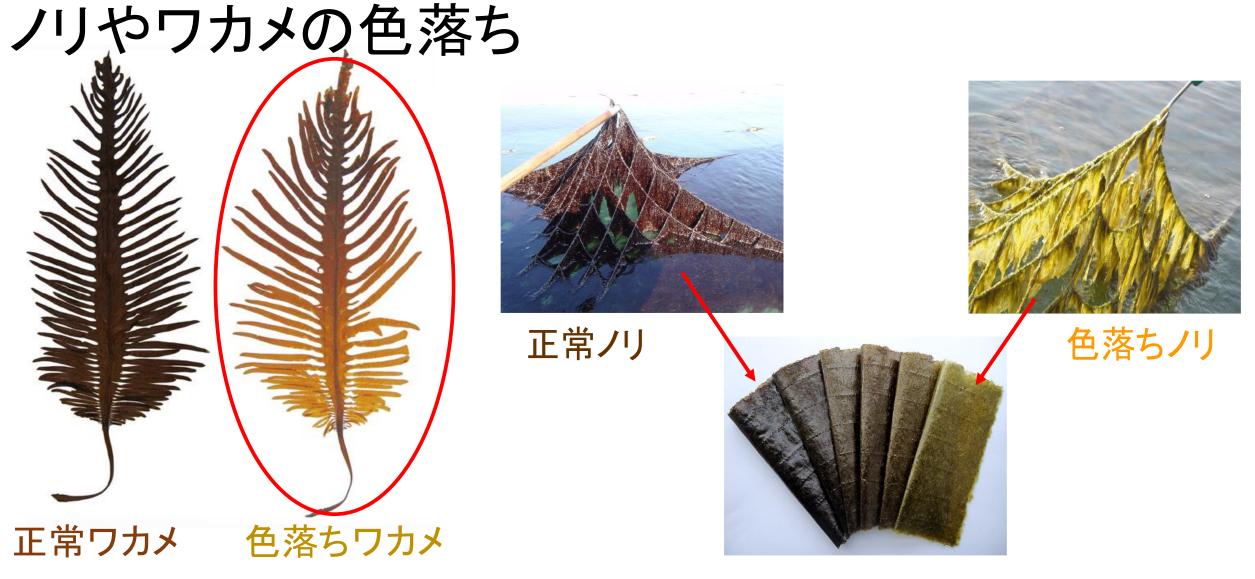
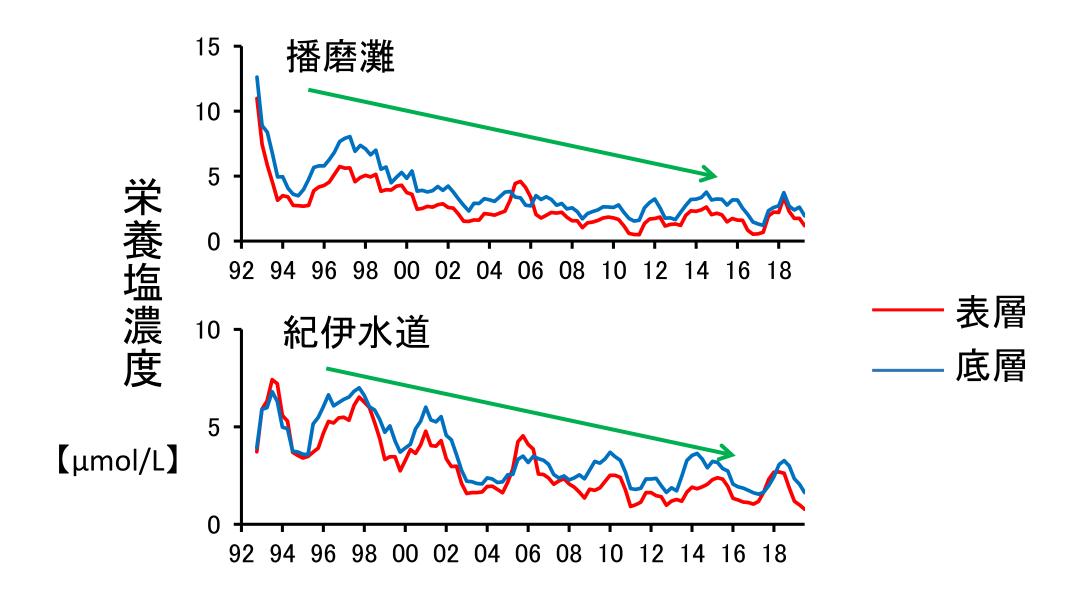


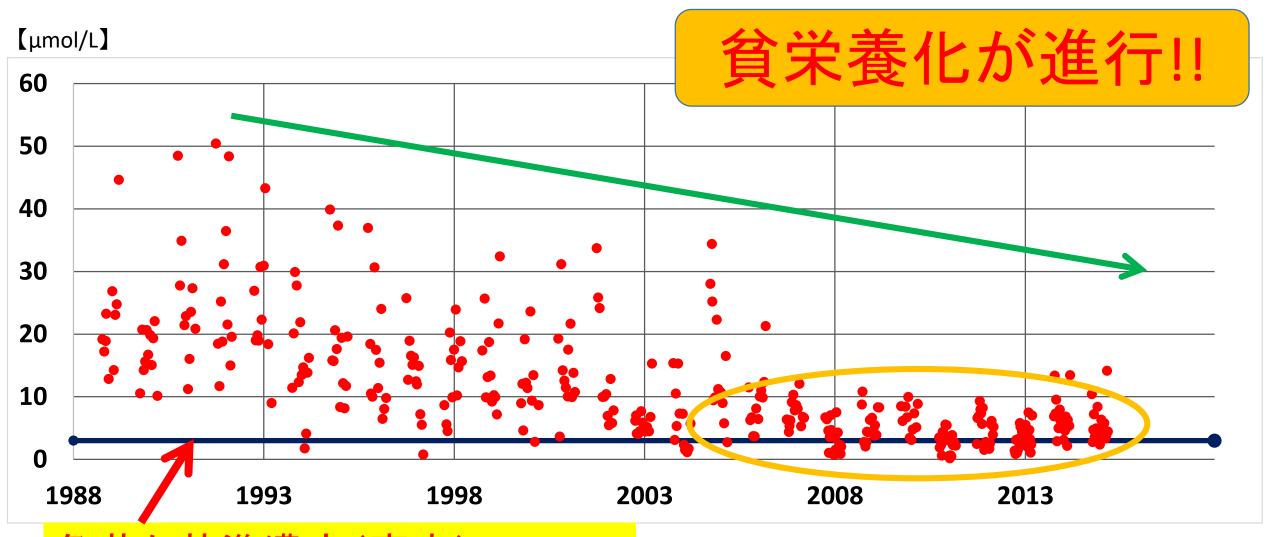
写真:「沿岸海域の栄養塩管理技術の開発」事業成果ダイジェストより

生育に必要な栄養塩(窒素)が不足して起こる!!

各海域で進む貧栄養化 【漁業調査船とくしまデータ】



吉野川河口域周辺の栄養塩(窒素)濃度変動

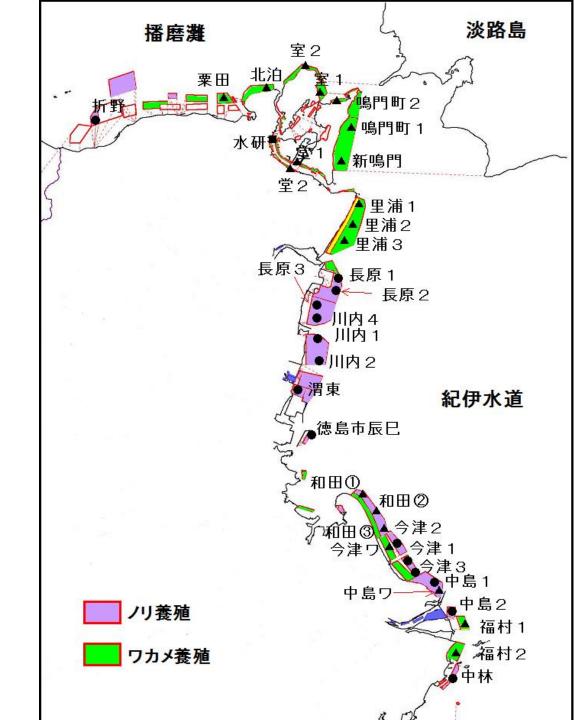


色落ち基準濃度(窒素)3µmol/L

当研究課の取組

養殖場の栄養塩濃度調査 (期間:10月~翌年3月)

・各漁場の栄養塩情報を ホームページに掲載



まとめ

- 近年, 高水温化が進行!!
- ・ 南方系魚種が増加,冷たい水を好む魚種の減少
- 藻場が衰退, あわび類など磯根資源が減少!!
- ・ 沿岸域の貧栄養化が進行、ノリやワカメの色落ちが発生!!

漁場環境の現状は厳しい!